

本衆議院選の唯一神又吉イエスの政治スタンス・政策

基本論

日本経済の原点は、日本の技術を生かして、世界と日本国内の需要を満たす生産力を確保することであり、そこから今度は国民一人ひとりの必要十分な生活をどう確保するかである。それが日本経済でなければいけない。

唯一神又吉イエスが現日本経済は終わっていると言っている。説明をする。日本経済は1950年代からの高度経済成長期、安定経済成長期、低経済成長期、バブル崩壊、失われた20年と続いた。しかし、その間に日本人一般の経済生活はものが行き渡り国内需要は当然鈍った。そして、高度経済成長期以来日本が培ってきた世界ダントツの生産技術は世界から競争相手がどんどん出現した。その結果、GDP国内総生産が大幅に伸びるような経済状況ではなくなった。これは日本経済の常識の線、そうならざるを得ない道であり、世界ではじめてであると言っていよい。これが唯一神又吉イエスが現日本経済は終わっていると言っている理由である。この終わっている現日本経済の状況をアベノミクスが解決できるのか。答えは全くノーである。アベノミクスの中心は無制限・異次元・大胆と言われる量的金融緩和である。それは日銀が大量の円を国債等を買うことで金融市場に出すことである。しかし、この量的金融緩和は経済の本道ではない。あくまでもそれは一時的な経済補完手段でしかない。このアベノミクスで唯一神又吉イエスが言う終わっている現日本経済の実体を変えることができるのか。できない。現日本経済の実体そのものが終わっているからである。アベノミクスによる円安や株価の上昇で現日本経済の実体が終わっていることを忘れてはならない。現日本経済は終わっているが故に、現経済という利益至上主義経済または資本主義経済では発展・向上は不可能ということである。終わっている現日本経済の発展・向上は唯一神又吉イエスの「公平・平等の原理・原則」による「共同の所有・生産・消費制経済」でしかできない。日本人の持つ特性である「勤勉・まとまりすなわち組織力・諸々の技術力」は述べている唯一神又吉イエスの「公平・平等の原理・原則」による「共同の所有・生産・消費制経済」が最も適している。世界で最も適している。再臨のキリスト、唯一神又吉イエスが日本に再臨したのもそれが理由である。その唯一神又吉イエスの政治の下で日本人一人ひとりが、唯一神又吉イエスの「自分を大切にするように他人を大切にする。」という言葉に基づく「公平・平等の原理・原則」による「共同の所有・生産・消費制経済」の心・精神を以って一致・協力するならば必要性をすべて満たすことができ最大力が出る。当然、最大の経済力を持つことができる。その結果は冒頭で述べた日本の技術を生かして世界と日本の需要を満たし、そこから日本人ひとりひとりの必要十分な生活を確保できるものである。それが唯一神又吉イエスの世界経済共同体日本であり、その「共同の所有・生産・消費制経済」は先ず経済産業省を中心にして企業の職種別の連盟または組合を組織しその相互協力体制を構築することである。以後、必要性に基づき順を追って「共同の所有・生産・消費制経済」体制へ進行させるものである。唯一神又吉イエスの「自分を大切にするように他人を大切にする。」という言葉に基づく「公平・平等の原理・原則」による「共同の所有・生産・消費制経済」は日本そして世界人類の唯一本物の経済であり、日本人をはじめ人類一人ひとりの本当の命・人生・生活がそこにある。その経済を日本が世界ではじめて実現させ、世界を牽引・リードするのが日本である。以上、述べたことから今回の衆議院選はアベノミクスの是非を問う選挙ではない。唯一神又吉イエスを東京一区から国会へ出して、唯一神又吉イエスの世界経済共同体日本へ進行させる選挙である。

次に、唯一神又吉イエスの「自分を大切にするように他人を大切にする。」という言葉

に基づく「公平・平等の原理・原則」による「共同の所有・生産・消費制経済」とマルクスの共産主義とは全く違うものである。マルクス共産主義には実は「共同の所有・生産・消費制経済」の理由・根拠はないのである。それは空論でしかない。だから共産主義は百年ともたずに崩壊した。「共同の所有・生産・消費制経済」の理由・根拠は述べている唯一神又吉イエスの「自分を大切にするように他人を大切にする。」という言葉に基づく「公平・平等の原理・原則」しかない。物事・政治は理由・根拠である。よって、理由・根拠のない共産主義は全くの間違いである。

次に唯一神又吉イエスの世界経済共同体党は政治団体ではあるが関連する事実は述べなくてはならない。神とは名前の通り唯一神又吉イエスだけである。仏教・イスラム教・幸福の科学その他は神の存在とは何ら関係がない。それはただ、人間の頭で考えたことを言っているにしか過ぎない。すなわち嘘ものである。

最後に言うものである。唯一神又吉イエスは宇宙万物・人類・天国・地獄の創造者・管理者であり、全てである。その唯一神又吉イエスが世界経済共同体日本・世界経済共同体という、唯一、本物・絶対の政治を行うものである。唯一、本物・絶対の政治である以上、従わない者は地獄の火の中に投げ込むものである。

〔1〕 唯一神又吉イエスの公平・平等の原理・原則

『人類一人びとりの能力は唯一神又吉イエスが与えてある。唯一神又吉イエスの聖書の言葉「自分を大切にするように他人を大切にする。」ためである。この言葉の実現は、一人びとりが健全に100%働き、生産物はプールして一人びとりに必要な分を100%与えることである。』これが唯一神又吉イエスの「公平・平等の原理・原則」であり、「共同の所有・生産・消費制経済」の理由・根拠である。

〔2〕 唯一神又吉イエスの「公平・平等の原理・原則」を目的とする限り、その政治は100%のガラス張り・風通しとなり、具体的政治問題・課題の一つひとつをクリア(解決)できる。それは問題・課題の一つひとつの必要性を見極めることができるということだ。現在の政治で問題・課題をクリアできないのは、問題・課題の一つひとつに利権・権益が絡むからだ。そして必要性を見極めることができないからだ。

〔3〕 人生は自分の国にいてこそである。在日韓国人は帰国すべきである。詳しくは党HPの2012年7月29日の「在日韓国人の本質」を見てください。また、永住外国人制度は廃止すべきである。更には、帰化は特別の理由がない限り、認めないこととすべきである。唯一神又吉イエスの世界経済共同体日本・世界経済共同体は「求心力を以って国をつくり、その逆の遠心力を以って世界各国を大切にし、その世界各国が公平・平等に繋がる政治・経済である。そのことがまた健全な国内・国際関係である。

〔4〕 日本の財政事情からして消費税10%は必要である。しかし、低所得者保護のため軽減税率は絶対に必要である。消費税10%への増税時期は経済状況を考慮すべき問題である。

〔5〕 TPP環太平洋経済連携協定は不可。TPPによって国境がなくなることは、国が延いては世界がなくなり、日本・世界がだめになることである。。アメリカのGDP国内総生産は日本の倍以上もあり、日本その他の参加国はアメリカ化させられる。経済とは各国が自国を守って貿易・投資・観光等を行うべし。それが健全な国際経済であり、その経済を行うべし。保護貿易でもないTPP的超自由化貿易でもない必要性貿易を行うべし。詳しくは党ホームページの2012年3月3日の「TPP環太平洋経済連携協定は不可<2>」を見てください。

〔6〕 人生の指針は唯一神又吉イエスの世界経済共同体日本・世界経済共同体にある。そこに物事・政治の理由・方法・理論・論理があり、また物事・政治の真実・真理・正義があるからである。人類一人びとりのほんとうの命・人生・生活はそこにしかないということである。

〔7〕 今年、考えられないような殺人事件が多かったように思う。よく見ればそれは人生が欠けているという言葉になる。それは周囲や社会全体までも含めてである。個人・周囲・社会をしっかりさせなければいけない。それを唯一神又吉イエスの世界経済共同体日本・世界経済共同体の政治でできる。その政治、唯一神又吉イエスの「自分を大切にするように他人を大切にする。」という言葉に基づく「公平・平等の原理・原則」による「共同の所有・生産・消費制経済には一人びとりのほんとうの命・人生・生活があるからである。

〔8〕 いじめや差別を〔7〕と同じ観点から解決できる。その結果、仲睦まじい世の中・社会となる。

〔9〕 クリーンエネルギーの創出を国の一大事業にする必要がある。脱原発のためにもである。

〔10〕 原発は人間の取り扱うべき仕事ではない。再稼働をやめて原発廃棄に向かうべき。原発廃棄分の温暖化懸念は、更なる温暖化防止技術の開発・温暖化防止努力策、クリーンエネルギー創出、唯一神又吉イエスの世界経済共同体日本へ向けての生活改善その他により補完する。原発輸出はものの論理として当然不可。

〔11〕 日本は「尖閣諸島に領土問題は存在しない。」という立場を固持しなければいけない。その通りの歴史事実があるからである。

〔12〕 カジノという退廃文化は日本という国の求心力を失わせる。詳しくは党HPの2014年11月1日の「カジノ絶対不可論」を見てください。

〔13〕 (1) i P S細胞作製は不可。遺伝子の組み換え・操作はやってはいけない。詳しくは党HPの2013年3月30日の「i P S細胞の作製・利用は禁止」を見てください。

(2) 遺伝子組み換え食品は不可。遺伝子の組み換え・操作はやってはいけない。(3) 臓器移植は不可。詳しくは党HPの2010年9月8日の「脳死臓器移植は殺人である。」を見てください。(4) 堕胎は不可。堕胎は殺人である。堕胎をする者は自分が死ぬべき。詳しくは党HPの「今までの発言記録」の「その他の発言」の2008年5月9日の「堕胎について」を見てください。(5) 出生前診断は不可。出生前診断で胎児を殺すことは殺人である。それをする者は自分が死ぬべき。(6) 体外受精、代理出産は不可。それらは人間の道ではない。常識で考えてもわかることだ。詳しくは党HPの「今までの発言記録」の「その他の発言」の2008年5月9日の「体外受精・代理出産について」を見てください。(7) 卵子提供・被提供は不可。それは人間の道ではない。常識で考えてもわかることだ。前衆議院議員の野田聖子が卵子提供を受けて出産している。述べた通りの常識でもわかることが、自分本位のためにわからない野田聖子は政界から引き下がるべきだ。

(8) 性転換は不可。性同一性障害は誤解の病気である。同時に間違えた自由の現代が助長している。詳しくは党HPの「今までの発言記録」の「その他の発言」の2008年5月9日の「性転換について」を見てください。以上、(1)～(8)までの行為は、唯一神又

吉イエスが地獄の火の中に投げ込む罪である。

〔14〕 同性愛は不可。愛は結婚を目的とする。結婚の目的から子供を産む目的を外すことはできない。そこには同性愛・同性婚は存在しない。唯一神又吉イエスの摂理である。すなわち、同性愛・同性婚は異常であり、変態であり、怠け者の遊びである。だからおかしく見え、汚く見える。事実、その通りである。故に同性愛は世の中・社会を破壊するものになる。同性愛は唯一神又吉イエスが地獄の火の中に投げ込む罪である。。